

情報かわら版

4



- ▷ 新潟県における「**畜産女子**」の事例集
- ▷ **みどり戦略学生チャレンジ**参加登録受付中！
- ▷ 2027年国際園芸博覧会 **高校生ガーデン制作グループ**募集
- ▷ 「見える化」の対象品目に「**ピーマン**」追加

今月の表紙：さくら（新潟市中央区）

電子版はこちら

北陸農政局新潟県拠点



新潟県における「畜産女子」の事例集を作成しました！

新潟県拠点では、「(公社)新潟県畜産協会」内にある「にいがた畜産女子会」の会員の皆さまにご協力いただき、「新潟県の畜産女子の取組を紹介します！」と題した記事を作成し、令和6年6月～令和7年3月にかけて新潟県拠点情報誌に計10回連載しました。

このたび連載記事を事例集としてまとめ、広く紹介する運びとなりました。

県内畜産農家の方に限らず、消費者の方、農業に関連する企業・自治体の方等にも広くお読みいただき、当県の畜産業に対する現状を理解いただくとともに、今後も引き続きご支援いただければ幸いです。

畜産女子



令和7年3月
北陸農政局新潟県拠点

～事例集でご紹介している皆さま～

- 01 山古志の牛の角突き「いま」を知る
(長岡市 関裕子さん)
- 02 和牛の「繁殖農家」ってどんな仕事？
(長岡市 阿部恵梨さん)
- 03 地域も養蜂も盛り上げる
(新潟市 橋元かおりさん)
- 04 庭園カフェで家族が育てた豚肉をPR
(新潟市 和田小百合さん)
- 05 真心と栄養が満点の卵のヒミツ
(燕市 清水さつきさん)
- 06 畜産を支える獣医師の仕事
(新潟市 大勝裕子さん)
- 07 鮮度抜群の牛乳で6次産業化
(新潟市 坂井美幸さん)
- 08 JA職員が語る和牛の裏側
(村上市 高橋彩咲さん)
- 09 3世代で育てるブランド和牛！
(新発田市 津村智美さん)
- 10 「にいがた畜産女子会」を語り合う！
(新潟市 にいがた畜産女子会事務局)



新潟県拠点HP

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata/jireisyu.html#chikusanjyosi>



第2回みどり戦略学生チャレンジの参加登録を受付中！

～ サステナブルなキミの取組を全国へ発信 ～

近年、気候変動による被害が各地で発生しています。また、農村における働き手の高齢化や担い手不足も深刻です。

このような背景を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、環境にやさしく、かつ生産性の高い、持続可能な食料・農林水産業の実現をめざし、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

2050年に日本を担う学生の皆さんは、まさにみどり戦略の主演。

日本の食料・農林水産業をリードするために、環境にやさしい取組にチャレンジしてみませんか。

第2回
みどり戦略学生チャレンジ

挑め!
みどりの挑戦者たち!

サステナブルなキミの取組を全国へ

近年、気候変動による被害が各地で発生しています。また、農村における働き手の高齢化や担い手不足も深刻です。
このような背景を踏まえ、農林水産省では、2050年に向けて、環境にやさしく、かつ生産性の高い、持続可能な食料・農林水産業の実現をめざし、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定しました。
2050年に日本を担う学生の皆さんは、まさにみどり戦略の主演。
日本の食料・農林水産業をリードするために、環境にやさしい取組にチャレンジしてみませんか。

内容
みどりの食料システム戦略に基づいた取組を実践
●具体例
調達/食品廃棄・畜産物、下水汚泥の肥料化・飼料化
生産/化学肥料の削減(土壌分析や水質検査、有機物の利用等)、化学農薬の削減(抽出品等の導入、ドローンを用いたセンサ・画像診断、除草剤の導入等)、CO₂の削減(中干し農機の延長、パイプ架の農地土壌への投入等)
加工・流通/長期保存に対応した冷蔵保存技術等の開発、環境負荷を低減した農産物の市場拡大、産地外農産物の加工利用等
消費/食品ロスの削減、消費者に対する環境配慮型農産物の意識調査、地域の企業等と協働した環境負荷削減農産物の食品化等

●取組概要を取りまとめたポスター・発表動画を「学生チャレンジ」として各種イベント、YouTube配信等により紹介
●意見交換会等による参加チーム間の交流を予定
「第1回みどり戦略学生チャレンジ」の結果はこちら

募集期間
2025 (令和7年)
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月
参加登録期間 4/1 - 6/30
ポスター提出期間 8/1 - 11/30
取組実施期間 1/1 - 11/30
2025 12月 2026 (令和8年) 1月 2月 3月
地方ブロック審査 全国審査 全国大会(表彰式・交流会) 2/14
全国出場者決定

事務局
農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
経営局就農・女性課
☎ 03-3502-8056 ✉ midori-challenge@maff.go.jp

農林水産省
みどりの食料システム戦略

※掲載の一部、部活動、ゼミ・サークル活動等、参加回数は限らない。
学校の単位を超えたグループも可。
※農業高校、農業大学校等、農業に関係する教育機関に限らない。

～取組内容～

みどりの食料システム戦略に基づいた取組（調達、生産、加工・流通、消費に係る取組）とします。

～応募資格～

「高校の部」と「大学・専門学校」の部」を設けています。
※農業高校、農業大学校等の農業に関する教育機関に限らず、広く高校、大学・専門学校の学生を対象とします。

～応募方法～

みどり戦略学生チャレンジに応募する場合は、令和7年4月1日から6月30日まで（厳守）に、参加登録フォームに必要事項を入力してください。

参加登録フォームはこちら

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kankyo/midori_challenge.html



詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>



2027年国際園芸博覧会 日本国政府出展

高校生 ガーデン制作グループ募集

私たちと一緒に、
2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)の
政府展示を彩ってくれないか？

国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園の振興と緑あふれる暮らしの創造等を目的に各国で開催されており、我が国は2027年に神奈川県横浜市において、最上位（A1クラス）の国際園芸博覧会である2027年国際園芸博覧会（以下「園芸博覧会」という。）を開催します。

園芸博覧会における政府出展では、準備段階から多様な主体の参画、特に次世代の花き園芸、造園、農業の担い手となりうる世代との共創による出展を行うことにより、園芸博覧会を通じて培われた関係性や取組等をレガシーとして残すことを目指しています。

このため、農林水産省では、高校生を対象に、テーマに沿ったガーデンの制作と、ガーデンを実現させるための課題研究活動を行う「2027年国際園芸博覧会政府出展参画プログラム」の活動グループを募集します。

応募期間

令和7年4月14日（月曜日）から
令和7年6月20日（金曜日）まで

対象者

高校生（高等学校、高等専門学校、
高等専修学校の学生（3年生以下））
により構成されたグループ

2027年国際園芸博覧会 日本国政府出展

募集 高校生 ガーデン制作グループ

日本では37年ぶりとなる最上位クラス（A1）の国際園芸博覧会が神奈川県横浜市瀬谷区・旭区で開催されます！
2027年国際園芸博覧会の政府出展エリアでガーデンを企画制作する高校生グループを募集します！

テーマ **花とみどりで創る景色**

世界各国から集まる来場者に向けて
トウクントウクが喜ぶガーデンの企画制作に
仲間とチャレンジしてください！



トウクントウクは、
地球がきれいだと嬉しくなり、
地球が汚れると悲しくなります。

2027年国際園芸博覧会
公式ウェブサイト
「トウクントウク」
©Expo 2027

詳しくはこちら ▶

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027/sankaku.html>



応募期間：令和7年4月14日(月)～6月20日(金) 締切

対象者：高校生で構成するグループ

応募内容：テーマ及びサブテーマに基づいたガーデンデザイン及びそのガーデンを実現させるための課題研究計画
審査スケジュール：一次審査(書類)令和7年7月上旬、二次審査(プレゼン)7月下旬予定
採択後の活動期間：令和7年の採択後から令和9年9月の閉会まで
主な活動内容：令和7年8月中旬～令和8年11月 応募内容に沿った課題研究活動
令和8年12月～令和9年9月 政府出展エリア内指定場所のガーデンの制作及びメンテナンス実施

採択後は農林水産省が、活動費の助成、アドバイザー派遣、学生間の交流会など、活動をサポート！
採択された高校は、農林水産省や2027年国際園芸博覧会の公式ロゴマークを使用したテンプレートにて
本取組のアピールが可能です。

【お問合せ先】

農林水産省

農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室
Mail: engeika_expo2027_ML@maff.go.jp

農林水産省HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027/sankaku.html>



公募チラシ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027/attach/pdf/sankaku-1.pdf>



公募要領

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027/attach/pdf/sankaku-2.pdf>



応募用紙

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.maff.go.jp%2Fj%2Fseisan%2Fkaki%2Fflower%2Fexpo2027%2Fattach%2Fdoc%2Fsankaku-1.docx&wdOrigin=BROWSELINK>

「見える化」の対象品目にピーマンを追加！

農林水産省では、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。今般、新たに「ピーマン」を追加するとともに、英語版のみえるらべるの使用も開始しました。また、優良事例や「みえるらべる」実践のヒントなどをまとめた「みえるらべる優良事例集」を公開しましたので、お知らせします。

「農産物の環境負荷低減に関する評価・表示ガイドライン」の改定を行い、「見える化」の対象品目に「ピーマン（露地・施設）」を追加し、対象品目は計24品目になりました（令和7年4月16日時点）。

	露地栽培のみ対象	施設栽培のみ対象	露地栽培も施設栽培も対象
穀物	米		
野菜	ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス	ミニトマト、いちご	きゅうり、なす、トマト、ピーマン
果実	りんご、日本なし、もも		温州みかん、ぶどう
いも	ばれいしょ、かんしょ		
その他	茶		



農林水産省HPプレスリリース

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250416.html



英語版みえるらべる「ChoiSTAR」(チョイスター)



みえるらべる優良事例集

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/attach/pdf/250416-3.pdf



副地方参事官 着任のご挨拶

本年4月1日に、新潟県拠点副地方参事官となりました浜崎幸雄と申します。前任地は農林水産省の本省で会計担当をされており、読者となられている皆様と直接お話しする機会が少なく感じておりましたので、今後の会議やイベント等の際には皆様のお話をぜひお聞かせ願えればと思います。今後ともよろしくお願いいいたします。



お問い合わせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

